

少雨の空間分布に関する研究

葛葉泰久（他） 水資源学会誌
14-2

2001 142-150

飢饉と救荒食—江戸期の飢饉から現代を考える—

小原章裕・入江一恵・福本恭子 兵庫大学短期大学部研究集録

35

2001 144-152

中世の農業と気候—水田二毛作の展開—

磯貝富士男
吉川弘文館

2001 351

松代藩「里郷」を中心とした天保飢饉

鬼頭康之 信濃

53-7

2001 461-488

気象災害の予測と対策

饒村 曜
オーム社

2002 185

日本の気候

倉嶋 厚
古今書院

2002 220

気候変化が日本の水災害発生に及ぼす影響

米谷恒春 気候変動と水災害（米谷恒春ほか編著）
信山社サイテック

2002 1-14 (256)

少雨と渇水災害の生起特性

葛葉泰久・友杉邦雄 気候変動と水災害（米谷恒春ほか編著）

信山社サイテック

2002 171-185 (256)

都市と渇水対策

尾崎 勝 都市問題研究
54-8

2002 53-65

中世の気候変動と災害・飢饉

原田信男 東北学
8

2003 110-118

農書と飢饉への対策—『会津農書』にみる飢饉への心構え—

佐々木長生 東北学
8

2003 189-199

農林水産業と気候

山川修治 環境気候学（吉野正敏ほか編著）
東京大学出版会

2003 255-282 (392)

飢饉から読む近世社会

菊池勇夫
校倉書房

2003 448

台 風**都市化と水害**

角屋 睦 京都大学防災研究所年報
20A

1977 19-28

都の水害対策

佐藤一夫 行政管理
331

1982 25-37

文化遺産保存における都市的災害の位置づけ

小川雄二郎 総合都市研究
29

1986 13-22

台風による風災害の予測について

光田 寧 京都大学防災研究所年報
40A

1997 47-61

台風の科学

大西春夫
日本放送出版協会
1992 190

荒ぶる自然—日本列島天変地異録—

高田 宏
新潮社
1997 264

都市水害論—5—明治時代以降の災害—1—

土屋義人 京都大学防災研究所年報
35B-2

1992 197-213

室戸台風と第2室戸台風による災害について

桂 順治 建築防災
263

1999 14-18

あの山はどうなった—16—京都・清水山国有林の復旧—
室戸台風被害から約60年

松浦安剛 林業技術
605

1992 26-28

威風堂々うかれ昭和史(28) 室戸台風

小松左京 週刊読売
58-45

1999 48-52

災害史の視点

笹本正治 京都大学防災研究所年報
37B-2

1994 127-138

京都周辺における伝統的水害防備法について(2)

石垣泰輔・上野鉄男・田中尚人 京都大学防災研究所
年報

46B

2002 585-590

風と建築—室戸台風から横浜ランドマークタワーまで—

大熊武司 建築技術
531

1994 60-67

NHK 20世紀日本 大災害の記録

監修：藤吉洋一郎
日本放送出版協会

2002 287

災害と文明—わが国の風水害の変遷史—

土屋義人 京都大学防災研究所年報
37A

1994 71-94

風水害論

京都大学防災研究所編
山海堂

2003 184

ニッポン「天変地異」録—12—室戸台風の巻

高田 宏 プレジデント
24-8

1996 362-368